

下部尿路症状に関する患者さんの情報の研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター泌尿器科では、「下部尿路症状に対する行動療法、薬物療法および手術療法による治療効果の検討」を行うことになりました。

この研究の目的は、下部尿路症状を有する患者さんの行動療法、薬物療法および手術療法による治療効果を調べて、それぞれの治療法がどのような影響を及ぼすかを明らかにすることです。下部尿路症状とは、主に男性では前立腺肥大症、女性では過活動膀胱などによる排尿障害を指します。

この研究のため、2005年1月1日より2029年3月31日までに治療した方の診療録、検査データの調査を行います。対象となるのは下部尿路症状の治療を行った方で、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（性別、年齢、採血データ、治療内容、治療後の改善効果の確認等）のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは、本研究の責任者のもとで厳重に管理されます。また、今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2026年5月

研究責任者

東京医療センター 泌尿器科

門間 哲雄 連絡先 03-3411-0111(代表)